

みずほCustomer Desk Report 2024/12/06号(As of 2024/12/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	150.43
TKY 9:00AM	150.54	1.0512	158.20	GBP/USD	0.6432
SYD-NY High	150.75	1.0589	159.35	AUD/USD	0.6454
SYD-NY Low	149.66	1.0509	157.59		0.6422
NY 5:00 PM	150.07	1.0588	158.91		0.6452
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,765.71	▲ 248.33	日本2年債	0.5900%	0.0100%
NASDAQ	19,700.26	▲ 34.86	日本10年債	1.0700%	0.0200%
S&P	6,075.11	▲ 11.38	米国2年債	4.1430%	0.0142%
日経平均	39,395.60	119.21	米国5年債	4.0742%	0.0043%
TOPIX	2,742.24	1.64	米国10年債	4.1771%	▲0.0058%
シカゴ日経先物	39,350.00	▲ 290.00	独10年債	2.1040%	0.0525%
ロンドンFT	8,349.38	13.57	英10年債	4.2810%	0.0340%
DAX	20,358.80	126.66	豪10年債	4.2400%	▲0.0160%
ハンセン指数	19,560.44	▲ 182.02	USDJPY 1M Vol	11.32%	▲1.64%
上海総合	3,368.86	4.21	USDJPY 3M Vol	11.11%	▲0.21%
NY金	2,648.40	▲ 27.80	USDJPY 6M Vol	10.61%	▲0.17%
WTI	68.30	▲ 0.24	USDJPY 1M 25RR	▲1.49%	Yen Call Over
CRB指数	286.43	1.08	EURJPY 3M Vol	10.95%	▲0.47%
ドルインデックス	105.71	▲ 0.61	EURJPY 6M Vol	10.60%	▲0.32%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月5日	09:30	豪 貿易収支	10月 A\$5953m	A\$4500m
	16:00	独 製造業受注(前月比)	10月 -1.5%	-2.0%
	16:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 -0.1%/-0.6%	0.3%/-0.2%
	16:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	10月 0.0%/-1.4%	-
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	10月 -0.5%	-0.3%
	22:30	米 貿易収支	10月 -\$73.8b	-\$75.0b
	22:30	米 新規失業保険申請件数	30-Nov 224k	215k

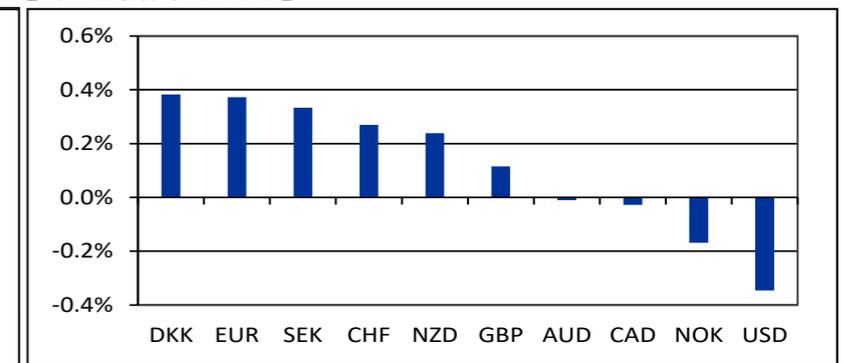
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月6日	14:00	日 景気一致指数・速報	10月 117.7	115.3
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	10月 1.0%	-2.5%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	3Q 0.4%/0.9%	0.4%/0.9%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	11月 220k	12k
	22:30	米 失業率	11月 4.1%	4.1%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	11月 0.3%/3.9%	0.4%/4%
	23:15	米 ボウマンFRB理事 講演	-	-
12月7日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	12月 73.3	71.8
	03:00	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.50-151.30	1.0480-1.0680	157.50-160.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は150円台半ばでオープン。中村日銀審議委員の発言や複数の米経済指標など材料は出たものの、明確な方向感を与えるまでには至らず。翌日に米11月雇用統計の発表を控えた調整の売りがやや強く、ドル円は上値の重さが意識され、150円ちょうど近辺でクローズした。本日は米11月雇用統計の発表が予定されている。Fed高官の発言内容にばらつきが見られ、次回会合に向けて依然コンセンサスのない中、発表内容次第で相応に値幅が出ることが想定される。ハト派と目される中村日銀審議委員の「利上げを否定しているわけではない」という発言を背景に、一辺倒に円売りが進みづらい状況下、結果が強かった場合の上値余地は限定的。弱かった際の大幅な下落にウエイトを置いて構えておきたいところ。

東京	東京時間のドル円は150.54レベルでオープン。午前は日経平均株価が寄り付きからの下げにつられて上値重く推移。午後には日銀の中村審議委員が利上げに反対していないと述べ、12月日銀金融政策決定会合での利上げが再び意識されたことで円が買われた。結局149.82レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、149.82レベルでオープン。明日に米11月雇用統計を控え調整か、クロス円の上昇を伴う円売りで150.41レベルまで上昇しNYに渡った。ユーロドルは、1.0524レベルでオープン。ユーロ圏10月小売売上高が予想を上回るも市場への影響は限定的。結局、1.0537レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台半ばでスタート。150.75まで上昇するも、その後中村日銀委員が「利上げに反対しているわけではない」との認識を示すと、円買いが優勢となり149.66まで反落。その後は欧州株高の展開を受け円が売り戻され、150.41レベルでNYオープン。朝方に発表された米10月貿易収支赤字が予想程悪化しなかったことや、米失業保険継続受給者数も予想を下回った事が好感され、発表後は150.70まで買われる。しかし、その後は米金利が伸び悩む展開が上値を抑え、その後150.10付近まで反落。午後は米金利が上昇幅を縮小する動きを背景に149.94まで値を下げ、その後150.07レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05台前半でスタート。独金利の上昇を受けた買いが優勢となり、1.0537レベルでNYオープン。午前中はフランス政府の内閣不信任案の可決を巡る騒動の一巡を受け、買い戻しが優勢となり、1.0589まで上昇。その後は伸び悩むも、1.0580付近を挟んだ推移が続く。午後は米金利の低下が一段の支えとなり、終盤にかけては高値圏の1.0590手前まで戻し、その後1.0588レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。